

まちを知る 議会を知る

# みのかも 市議会 だより

2017.2.1

No.168



## 平成28年市議会 第4回定例会

- ・総額約9億円 一般会計補正予算案を可決
- ・藤井市長の退職の期日に同意

### 主な内容

- ◆定例会の審議結果…… 2・3P
- ◆委員会審査の概要 … 4・5P
- ◆市政一般に対する  
質問と答弁…………… 6～13P
- ◆議会日誌…………… 13P
- ◆アンケート結果…………… 14P
- ◆活動ピックアップ…………… 15P
- ◆お知らせ…………… 16P

定例会の審議結果

平成28年

第4回

定例会

総額約9億円一般会計補正  
予算案を可決、  
藤井市長の退職の期日に同意

市議会第4回定例会は、11月29  
日に開会し、12月19日までの会期  
21日間で開催しました。

初日は、15議案を上程し、議第  
81号については採決、選第4号につ  
いては、指名推選により副市長、  
議長が当選しました。

7日は、市長の退職の期日に関  
する同意ほか、7人の議員が一般質  
問を行い、8日は、残り7人の議  
員が一般質問を行いました。

9日には、各議案に対する質疑  
を行い、委員会付託を行いました。  
付託された各議案の審査のため、  
12日に文教民生常任委員会、13日  
に企画建設常任委員会を開催しま  
した。

19日には、各議案に対する委員  
長報告・討論・採決を行い、定例  
会を閉会しました。

議案 クローズアップ

議第74号

美濃加茂市保育園の設置及び管理に  
関する条例の一部を改正する条例

議案の概要

待機児童対策として、平成29年度から、  
太田第一保育園の定員を60人から75人  
に、古井第一保育園の定員を140人から  
145人に変更するもの。



太田第一保育園



古井第一保育園

議第75号 平成28年度美濃加茂市一般会計補正予算(第6号)

議案の概要

一般会計予算を8億8,193万9千円増額するもの。

主な補正内容…小中学校のトイレ洋式化

小学校施設営繕工事(委託料673万9千円)、中学校施設営繕工事(委託料42万1千円)。小学校9校  
64箇所と東中学校の4箇所のトイレを洋式化する設計業務。西中学校については、今回、中学校大  
規模改造事業(1億2,021万円)として、トイレ洋式化の改修などを行う。

定例会の審議結果

議案等の審議結果

全会一致で承認・可決・認定された議案

議案番号	議案名	主な内容
議第68号	市農業委員会委員及び市農地利用最適化推進委員の定数に関する条例	農業委員会等に関する法律の規定により、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員それぞれの定数を定める条例
議第69号	市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する法律の改正により、介護休暇の分割、介護時間の新設、育児休業に係る子の範囲の拡大が規定されたことによる所要の条例改正
議第72号	市職員の給与に関する条例及び市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	人事院により一般職の国家公務員の給与改定及び給与制度の総合的見直しの実施が勧告されたことに基づく、給料表の水準引き上げ等の所要の条例改正
議第73号	市税条例等の一部を改正する条例	地方税法等の一部を改正する等の法律が公布されたこと等により、必要な措置を講ずるための所要の条例改正
議第74号	市保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	保育士等職員の再配置を行い、施設の設定基準の範囲内で2つの保育園において定員を増加させること等の所要の条例改正(詳細は2ページ)
議第75号	平成28年度一般会計補正予算(第6号)	8億8,193万9千円の増額、予算総額は217億4,310万5千円 ふるさと納税基金積立金及び返礼品等に係る経費、臨時福祉給付金給付事業(追加)、中之島公園内多目的ドーム入口のビニールカーテン設置、小中学校のトイレ洋式化の設計、西中学校のトイレ洋式化等大規模改造事業(詳細は2ページ)などによる増額補正
議第76号	平成28年度介護保険会計補正予算(第2号)	保険事業勘定 1,046万円の増額、予算総額は38億8,198万9千円 職員の人事異動等に伴う増額補正
議第77号	市道路線の廃止	市道西町505号線の廃止
議第78号	市道路線の認定	市道西町510号線ほか10路線の認定
議第79号	可茂広域行政事務組合規約の一部を変更する規約に関する協議	可茂広域行政事務組合において、解散に伴う事務の承継の方法についての規定を追加するため、可茂広域行政事務組合規約の一部を変更することについて協議するもの
議第80号	可茂広域公平委員会共同設置規約の制定に関する協議	可茂広域公平委員会を共同設置するための規約について協議するもの
議第81号	市固定資産評価審査委員会の委員の選任	任期満了に伴う後任委員の選任同意(岸民夫氏 再任)
選第4号	岐阜県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	岐阜県後期高齢者医療広域連合規約第8条第4項の規定による選挙(海老和允副市長、森弓子議長 当選)
—	市長の退職の期日に関する同意	藤井浩人市長が12月19日をもって退職することについての同意

賛否の分かれた議案

議案番号	議案名 主な内容	議決結果	議員名															
			渡辺孝男	酒向信幸	日置祥子	牧田秀憲	坂井知足	村瀬正樹	渡辺益巳	高井厚	佐合広和	前田孝	金井文敏	柘植宏一	片桐美良	森弓子	山田栄	
議第70号	市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	平成28年度の人事院勧告を受けた一般職の給与改定に準ずるとともに、特別職の職員の給与に関する法律の改正を勧告して市議会議員の期末手当を引き上げる条例改正	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議第71号	市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	特別職の職員の給与に関する法律の一部改正により、国に準じて常勤の特別職の期末手当を引き上げるための条例改正	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

委員 会 審 査 の 概 要

# 委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

## 文教民生常任委員会

《市保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例》

問 定員を増加する保育園が、太田第一保育園と古井第一保育園となつた理由は。

答 2園は、施設の設置基準の範囲内で定員を増加させることが可能であつたためである。

問 保育士の労働状況に関して、保育士の休憩時間は、現場において十分に確保されているのか。

答 職員全員で時間を割振りして、休憩を取るなど、配慮を行っているが、根底では保育士不足が原因となつているため、その改善に向けても取り組んでいる。

問 保育士の業務負担軽減として、現在1名で各園の営繕等を行っている用務員を増員する考えは。

答 用務員は、直接保育にかかわらない部分で園の運営に貢献しているため、業務量をみて増員を検討していきたい。

問 平成29年度の入園申し込みの状

況は。

答 11月末で締め切り、現在精査中であるが、すべての方が第一希望とする園に入れるかは難しい状況である。

問 今年度4月に新設された、民間保育園「ニチキッズ美濃加茂保育園」の状況は。

答 現在、定員に若干の余裕はあるが、希望の多い1歳児については、受け入れができない状況である。



全保育園の営繕を担当する用務員

《平成28年度一般会計補正予算(第6号)》

問 中之島公園内多目的ドームの入口に取り付けるビニールカーテンの詳細は。

答 ドームでは、資源回収事業等を実施しており、風や落ち葉等の吹込みを防ぐため、5m×4mのビニールカーテンを設置する。なお、財源は寄附金を活用する。

問 保育士の嘱託職員及び臨時職員の賃金が2,500万円減額補正となつた理由は。

答 当初予算で予定していた嘱託・臨時職員の人数が確保できなかったためである。ただし、募集自体は随時行っているため、今後の採用分を見込んだ上での補正金額となっている。保育士の応募が少ない状況であるため、有資格者の登録制の導入などの対応を検討していきたい。

問 小学校緊急トイレ洋式化設計について、事業の内容は。

答 各小学校の校舎、体育館、屋外において、トイレ室内に和式トイレしかない状況を解消するための改修事業である。本件は、事業にあつた設計業務を行う。

問 小学校緊急トイレ洋式化設計業務の金額が約670万円であるが妥当か。また、業務を学校ごとに委託することは可能か。

答 各小学校のトイレの一つずつを

細部まで確認する必要があるため、このような金額となる。委託は、全校一斉に行うため、一社に一括して発注する予定である。

問 トイレ洋式化改修工事の金額見込みは。

答 およそ5,200万円を見込んでいる。

問 西中学校大規模改造事業に係る起債の詳細は。

答 借入期間は20年を想定している。政府資金で借入れし、半年に1回支払いする形で、5年ごとで見直しをすると仮定した場合、金利は0.1%となる。



中之島公園多目的ドーム(資源回収時の様子)

委員 会 審 査 の 概 要

企画建設常任委員会

《市農業委員会委員及び市農地利用最適化推進委員の定数に関する条例》

問 推進委員の現場活動は。

答 おおむね月1回の農地パトロールにより、遊休農地の状況等の確認や、担い手へのマッチングなどを行う。

《市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例》

問 育児休暇の取得状況は。

答 現在21名が取得中で、うち1名は男性である。

《市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例》

問 人事院勧告の対象範囲は。

答 人事院勧告は、一般職を対象としているが、国においては、特別職も一般職にならつて引き上げを行うことが国会で可決成立している。地方公共団体は、国の特別職と同じように市の特別職や議員に反映させており、このたびの人事院勧告では、県内21市は全て同様に取り扱っている。

《平成28年度一般会計補正予算(第6号)》

問 市民が他市にふるさと納税をした場合、国から財政支援はあるか。

答 市民が他市へふるさと納税をし、寄附金控除を受けると、その分の市税が減収となる。平成27年度は約1,300万円の影響があった。減収分は地方交付税に算入されると考えられる。

問 ふるさと納税自動販売機を市民が利用した場合の対応は。

答 自動販売機で購入した商品にあるQRコードを利用すると、本市のふるさと納税サイトへつながる。サイトには、市民がふるさと納税をしても返礼品等の特典がない旨の記載がある。商品の購入自体が、本市にふるさと納税することにはならないため、注意書き等の検討をしたい。

問 有害鳥獣捕獲対策における今後の課題は。

答 被害の発生する地域に防獣ネットを順次設置するほか、猟友会の協力により、イノシシの檻おぼの設置箇所調査や設置箇所の適正化及び作業道の整備などを進める。パトロールでは、特に猿の追い払いや駆除を進めていく。

問 檻わなや罿わなの設置に関する補助は。

答 イノシシの檻については、補助制度がない。小動物用の檻については、市が無料で貸し出ししている。檻

や罿の購入や設置に関する個人への補助は今後検討する。

問 加茂川水位・流量センサー設置の詳細は。

答 坂祝町酒倉地内の寿後川すごがわと加茂川の合流点から下流で大門橋までの間に、水位センサー1基と流速計一式を設置するものである。測定したデータを無線で送信し、職員が随時観測できるシステムとする予定である。測定したデータは、加茂川の排水機場の運転に大きく影響するため、インターネットにより排水機場でも確認できるようにして連携を図っていく。

問 前平公園雨水貯留施設の概要及び測量設計委託料の内容は。

答 公園内の池だけでは雨水の貯留量が足りないため、多目的広場に貯留施設を計画している。測量設計委託については、市所有の地図情報等を用いるだけ利用し、コスト削減に努めているが、現場や設置予定箇所によっては状況が異なる場合があり、多岐にわたる調査が必要になるため、手間や費用がかかる。

問 地方債の補正において、設定している借入上限利率4%の見直しはの考えは。

答 実情は0.1から0.2%程度の借入利率となっており、上限利率はその時の状況に応じて設定している。現在の設定は現実的ではないので、来年度以降変更するよう検討する。

《市道路線の認定》

問 宅地開発に伴う市道認定の基準など詳細は。

答 道路の幅員4メートル以上、排水施設設置、道路の舗装を基準としている。計画時点で道路構造上問題がないか確認し、工事後に検査を行う。補修が必要な場合は、施工業者による補修の後、再検査を行い、寄附を受ける。補修がなされない場合は寄附を受けないことになる。



加茂川排水機場を視察する議員

# 市政一般に対する質問と答弁

14人の議員が登壇し、市政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。  
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、すべての質問と答弁はインターネットにて配信していますので、こちらもご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



森 弓子 議長

**美濃加茂市議会 議会中継**

<http://smart.discussvision.net/smart/minokamo/>

美濃加茂市議会 議会中継

検索



議会中継

**視聴方法**

トップページ

会議名から選ぶ

平成28年第4回定例会

12月7日・8日 市政一般に対する質問

**会議録検索システム**

<http://www.kaigiroku.net/kensaku/minokamo/menu.html>



**片桐 美良 議員**

(仮)総合医療センター

**問** 事業の総額と市が負担すべき金額及び内訳は。

**答** 総事業費は、約11億4千万円。そのうち、市の負担額は約1億6千万円。市の負担すべき金額の主なものは、雨水管理設工事が約9,200万円、配水管敷設替工事が約3,200万円、市が所有する土地購入費が約600万円である。

**問** 譲渡時期の考えは。

**答** 平成28度中に売却できるように進めたい。

**公共交通**

**問** あい愛バスの平成27年度中の利用者人数と運行経費は。

**答** 利用者は延べ1万7,516人。運行経費は2,224万3,680円であった。

**問** バス停数の見直しは検討されているか。

**答** 37カ所廃止し、新たに58カ所の設置を計画しており、総数は211カ所を予定している。

**問** 高齢者の運転免許返納に関する優遇策は。

**答** あい愛バスの回数券を交付することを検討している。また、65歳以上の運転者が、衝突被害軽減ブレーキ等安全装置の付いた新車を購入する際の助成制度創設も検討していく。

**国民健康保険**

**問** 保険料の算定に、なぜ本市は資産割を取り入れているか。

**答** 景気動向に左右されやすい所得割の負担比率を抑えるためである。

**問** 同算定に、なぜ税方式でなく料方式としているか。税方式の方が不能欠損額の低減につながるのではないか。

**答** 国民健康保険法の原則どおり行っている。徴収については、債権の確保と徴収率の向上に努力している。



あい愛バス

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



日置 祥子 議員

国民健康保険

**問** 市内の国民健康保険加入者の主な職業及び年齢構成は。

**答** 厚労省データでは、農林水産業、自営業、非正規雇用者、無職世帯となっている。年齢構成は、10月現在、60歳未満が50・48%、60歳以上が49・52%となっている。

**問** 低所得世帯が多く、高齢者が多い。医療費がかかる年齢層が加入し、保険料に事業主負担がないため、国保加入者の経済的負担が大きいかどうか。

**答** そのとおりである。

**問** 平成23年度から国庫支出金が減っているのに、市一般会計の繰入金が減っているのはなぜか。被保険者の負担が増えたのではないか。

**答** そのようなことはない。社会保険支払基金からの支出金などがあつた。

**問** 平成24年度から28年度は、国保の加入者数・世帯数・所得額が、年々減っているのに、保険給付費予算額が増えているのはなぜか。

**答** インフルエンザの流行や高額医療のことも見込んで予算を組ん

でいる。

**問** 統計から、保険給付費の決算の伸び率が1・02であるのに対し、前年度決算から当年度予算への伸び率は1・06である。この差は1世帯当たり1万8千円、1人当たり1万1千円多く徴収していることになる。取り過ぎではないか。

**答** 予期せぬ給付増も見込んでいたため多くなっている。

**問** 医療分の所得割・資産割・均等割・平等割の条例値(45・10・30・15)が守られていないのは、料率を据え置いたからではないか。

**答** 条例に基づいて保険料を算定している。

**問** 都道府県化に移行する前に肥大化した国保財政調整基金の最適化、料率の算出方法の見直し、保険者支援制度の予算化などにより、国保料の引き下げを求める。国保の黒字決算についての所見は。

**答** 平成27年度予算では、医療給付費の予期せぬ大幅な増加もなく、健全な財政運営が維持できた。



佐合 広和 議員

豪雨災害の確率年

**問** 想定外の災害と確率年(400年に一度)の豪雨対策についての考えは。

**答** 国の管理する主要水系において、想定し得る最大規模の浸水深等について、シミュレーションの公表を進めており、木曾川に關しても、公表に向けて作業中である。現状は、発生した災害を「想定外だった」との結論に至ることが多い事から、さらに厳しい想定をしてあらゆる事態に備える事は行政・市民の生命財産を守る為に重要であると認識している。今後、当地域の情報が公表された場合には、速やかに情報発信すると共に諸計画の参考にした。

シティプロモーション

**問** 事業戦略の一つとして、公用車等に市のシンボルであるアジサイ、ムクノ木、コバルトブルーを用いたカラーラッピングを導入する考えは。

**答** 凶案化したものを、人々の目につく公用車等にペイントし、広く活動することは、市に対する愛

着度を向上させるとともに、市の良さを知ってもらい、訪れるきっかけになると考える。経費等を勘案し、公用車の更新の際などの検討課題としたい。

ふるさと検定

**問** 本市の魅力や郷土愛の醸成のために「ふるさと検定」を実施する考えは。

**答** 「まちを知り、まちを愛し、まちのために行動できる市民の育成」は第5次総合計画の政策の一つであり、地域の歴史・文化・風土や産業を知る事で、地域に誇りを持ちこれらを外部にも発信する事は大切であると考える。現在、小学校や文化の森でのふるさと学習をはじめ、地域再発見事業など様々な取り組みを行っている。

「ふるさと検定」は故郷を学ぶための有効な手法の一つであるため、新年度に向けて、具体的な取り組みを行いたい。



9・28災害(昭和58年)

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



**村瀬 正樹**  
議員

市長が市長職を続けながら  
裁判を闘っていくこと

**問** 市長の逮捕から約2年半。今回の名古屋高裁における逆転有罪判決後、市長の突然の辞職表明があり、その後再び市長選に出るとのこと。市民感情がまた二分三分され、あらぬ軋轢が生じる恐れがある。この先いつまで続くかわからない裁判終結までの日々。市長が市民のためを思つたら、裁判に集中され無罪を勝ちとるまでは、市長職から離れるべきと思つがどうか。

**答** そういう考えの市民もあるが、あえて裁判を続けながら市長を続投してもよいという方がどれ位あるか、選挙で問いたい。

障がい者グループホームの建設

**問** 平成27年第4回定例会にて「障がい者福祉施設整備への財政支援の拡充を求める意見書」を、議会全員の賛同を得て国の関係機関に提出した。私も過去5回、グループホーム建設について一般質問をしてきた。執行部の最終的な答弁は「計画に沿って施

設の充実を図り、市有地で建設にふさわしい土地があれば、無償貸与も考えていく。」であったが、その後どうなったか。

**答** 市内に入所できる施設はなく、37名が市外で入所されている。現在、市内に1棟のグループホームがあるが、これからに備えるためには十分ではないと考えている。グループホームに提供できる適地があるか要望に基づいて調査を進め、適地として考えられる土地があれば、無償貸与などによりグループホームの設置等を進めていきたいと考えている。



市有地の無償貸与を活用し建設された生活介護施設(きらら美濃加茂)



**山田 栄**  
議員

里山千年構想に係る里山資源活用

**問** アベマキや竹を活用した事業の現況と今後について。

**答** アベマキについては、これまでの学校机天板製作に加え、机や椅子、小物類の試作品が完成し、「エコプロ2016」へ展示するなど、PR活動に努めた。竹については、チップ化して堆肥利用した効果が現れており、引き続き各種作物について研究している。また、壁材にも活用出来ないか研究中である。

**問** 竹木破砕機の管理の状況及び新規購入の予定は。

**答** 9月の補正予算で購入した竹木破砕機は、みのかも健康の森において、森林組合が管理しながら、三和町・山之上町地域のバッファゾーン整備などに活用している。現在は、蜂屋町地域から竹木破砕機の利用要請を受けている。今後、利用機会が増加し、1台で賄えなくなった場合は、更なる購入を検討していく。

かわまちづくり事業

**問** 中之島公園北側の亀淵管理用道路の今渡ダムまでの遊歩道延

長及び太陽光発電式の防犯灯設置の考えは。

**答** 遊歩道の用地測量・設計業務を平成28・29年度に行う予定である。遊歩道は、木曾川増水時に浸水する範囲であり、防犯灯を設置する場所としては不適なため設置の計画はない。

**問** 中之島公園内に、国旗・市旗掲揚場及び野外ステージを設置する考えは。

**答** 施設の維持管理を配慮し国旗・市旗掲揚場の設置予定はない。常設野外ステージについては、これから築造する自然環境体験学習館の西面の野外テラスをステージとして活用する計画である。イベント時はこのステージと芝生広場を一体的に活用可能である。

加茂川総合内水対策事業

**問** 急激な増水抑制のため、各施設における雨水貯留浸透施設整備の予定は。

**答** 平成29年度に、前平総合グラウンド内の多目的広場、平成30年度に、山手小学校グラウンドの整備を予定している。西総合グラウンドは、平成31年度となる予定であるが、西体育館の建設事業との調整等により、順次整備していく。



市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



前田 孝員 議

防災行政無線戸別受信機設置

**問** 280MHzの周波数を利用した戸別受信機整備の実施設計業務は、9月に終了したが、その後の進捗状況は。

**答** 設計書で提案された文字表示付き戸別受信機を全戸導入した場合、総工費は約8億6千万円と試算された。受信機の性能を下げた試算した場合も、約5億7千万円となり、予想を大きく超えるものであった。厳しい財政状況の中で、直ちに導入することは難しい状況である。既存の情報手段である地域FM放送やケーブルテレビを利用した情報伝達、防災行政無線のマストを利用した無線システムが利用できないか検討している。

障がい者施設整備及び障がい者雇用促進法

**問** 「ひまわりの家」、「きらら美濃加茂」にグループホームを建設していただきたい。

**答** 市内にはグループホームが1棟あり、就労支援B型及び生活介護サービス施設を運営する社会福祉法人が独自に建設されたもので

ある。今後、建設の相談があった場合、運営する事業所へ十分な支援ができるよう体制を強化していきたいと考えている。

**問** 民間企業の障がい者法定雇用率は2%であるが、市内の状況は。

**答** ハローワーク美濃加茂管内の法に基づく雇用率未達成企業の割合は41.7%である。全体雇用率は2.1%である。

**問** 美濃加茂市役所の雇用率は。

**答** 2.62%である。

**問** 雇用率が達成できない場合のペナルティーは。

**答** 常時労働者100人を超える企業主に対して、不足1人につき月額5万円の障がい者雇用納付金が徴収される。

**問** 市の障がい者雇用に対する支援体制は。

**答** ハローワークと連携し、求職登録者に対して就労支援を行っている。

自治会要望

**問** 平成27年度の自治会要望処理状況は。今後も要望事項を処理対応されるようお願いする。

**答** 市全体の要望件数1,385件のうち321件を処理しており、その割合は23.2%であった。



高井 厚員 議

営農推進

**問** 本市の農業の現状は、米作りや畑作業を行わない不作付けの農地も目立ち、田畑を手放すということが不断に進行しているとの認識でいる。自身が元気なうちは営農を続けようと考えている方々もあるが、年齢や健康のこともあって、その先は分からない。

**農地中間管理機構による農地集積はなかなか進まないが、原因や理由の分析は。**

**答** 農地中間管理機構を活用して、担い手への農地の集約を図っているが、実績はあまり伸びていない。その原因の一つとして、本市の農業環境や農地に対する意識が挙げられる。市内の農地は比較的小規模であり、採算を二の次にしての兼業農家が多く、農地イコール財産と考える所有者も多い。機構へ農地を貸し出す場合に、その期間、農地以外の活用が制限されることに抵抗感があると考ええる。

一方、制度においても、借り手の登録者数が少ないことが、農地中間管理機構による農地の集積が

進まない理由と思われる。  
**問** 農地中間管理機構登録団体は今後増えていきそうか。

**答** 現在登録している市内の担い手は、個人、法人も含めて9団体である。農協とも情報を共有し、新規就農者や認定農業者で経営の拡大を検討している農家に積極的働きかけ、担い手の登録をお願いしている。

**問** 企業の参入について、市の考え方と現状は。

**答** 登録9団体の中には、異業種から参入している企業もあり、農業に対する積極的な取り組みがみられる。経営の拡大意向の大規模農家がなかなかいない現状の中、企業の農業参入は担い手の確保につながるため、大いに期待したい。

**問** 小規模農地多品目栽培推奨の考えは。

**答** JAにおいて「JAガーデン」という家庭菜園事業が行われている。貸し手と借り手の条件が合わない場合もあると聞いているが、そういった課題に対応しながら、JAと連携してPRを展開していく。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



**渡辺 孝男** 議員

健康診断

**問** 健康診断時、市役所駐車場が混雑しているが、受診率に影響はないか。また、駐車場緩和策として健診場所を移すことは考えていないか。

**答** 受診率は少しずつ伸びているため、駐車場不足が直接影響しているとは考えていない。しかし、駐車場の混雑は事実であるため、現在文化会館での実施ができないか考えている。また、日曜健診についても対応可能かどうか検討し、試験的に今年度2日間実施し、問題がなければ来年度からの実施を予定する。

農地の雑草対策

**問** 適正管理がされていない農地の雑草処理対策について、市の対応は。

**答** 市から土地の所有者に直接または文書にて、適正管理をお願いしている。その中で現在、所有者の高齢化等により適正管理が難しくなっている農地も見受けられる。「農地利用最適化推進委員」を新設し、農地パトロールを行い、

農地適正管理の指導等行うことで、除草等に対する早めの対策につなげていきたい。

「みのかも元気体操」

**問** 「みのかも元気体操」についての取り組み状況は。

**答** 市民の皆さんが「美濃加茂市の歌」に愛着を持ち、より一層親しんでいただくとともに、健康・体力維持のため、誰もが簡単に取り組むことのできる体操として職員が「みのかも元気体操」を作成した。一つ一つの動きはシンプルながらも、ストレッチ効果が期待できると感じている。

現在、体操を普及する手段として、体操の絵と美濃加茂市の歌を入れた説明入りチラシを配布しており、体操の動画も作成予定である。



作成された体操の動画



**渡辺 益巳** 議員

水道事業

**問** 老朽配水管改修事業で、市内の延べ延長は574kmある。配水管の耐用年数は約40年とされているが、40年以上経過した敷設配水管の距離は何kmあるか。また、その老朽管の更新計画は。

**答** 平成27年度末で40年以上経過した水道管は約18kmある。20年以上経過した口径150mm以上の基幹管路を中心に更新を行い、その後、末端管路まで更新していく計画である。老朽管更新事業費は、毎年約3億円を投入し、計画的に更新事業を実施していく。

また、水道本管からの漏水が増加しており、修繕工事は、平成27年度には17件と増加傾向にある。対策として、漏水箇所周辺の布設替え工事を行う。今後も漏水箇所の調査、把握を行い、積極的に対策工事を実施し、有収率の向上に努めたい。

業務継続計画(BCP)

**問** 大規模災害など緊急事態発生時に、市長が不在である場合の職務代行順位は。

**答** 地域防災計画において、職務代行順位は副市長、教育長、総務部長、経営企画部長と定めている。

**問** 本庁舎被災に備えた代替庁舎は。

**答** 生涯学習センター、総合福祉会館、文化の森と定めている。

**問** 非常用発電機設備と燃料は。

**答** 庁舎裏に自家発電機を設置しており、停電時には約3分で起動する。燃料は、地下タンクに6千リットルを備えている。

**問** 平成28年10月、地域防災計画に基づき、市職員の防災訓練が行われたがその成果と課題は。

**答** 訓練では、非常時優先業務の必要性とマニュアル、書類等の整備状況について、点検と確認ができた。また、複数の課が連携行う業務の割り振り調整や正確な情報の一元化の必要性などが課題となったので、今後一つ一つ解決していく。



漏水箇所修繕工事の様子

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



牧田 秀憲 議員

学力向上に向けて

**問** 全国学力テストにおける本市の結果及びその感想は。

**答** 教科に関する調査における市内小中学校の正答率は、小学校は、全国平均よりかなり上位である。国語は基礎、活用に関する問題に優れている。算数は全国平均を上回っているが、活用に関する問題が平均より若干下回っていた。中学校は、全国平均をやや下回っている部分が見られるが、努力されている。

総合的にみると、国語、算数・数学において、8つの観点のうち6観点において、正答率が前年度よりも上昇しており、概ね良好である。

これは「ユニバーサルデザイン※」の視点を取り入れ、児童生徒の様々な実態を踏まえ、どの児童生徒にも分かりやすい授業づくりを市全体で取り組んできた成果が表れてきている。今後は、国語科においては、特に「語彙力」「話し手の意図を捉えながら聞いたたり、目的に応じて話したりする力」、算数・数学科においては「計算力」「図形についての理解」のさらなる向上

が課題であると考えている。  
**問** さらなる向上に向けての取り組みは。

**答** 今後は、学習習慣の確立と整備を進めていく。学習指導においては、指導のねらいを明確にして、学習意欲を高め、児童生徒の学習の様子を的確に見届け、理解が不十分な児童生徒をそのままにしておかない指導を展開していきたいと考えている。

学童保育

**問** 4年生以上の学童保育の考えは。

**答** 本市では、1年生から6年生までを対象としているが、学校等の空き教室がなく、現状は多くのクラブが4年生までで定員に達している状況である。

4年生以上の児童については、地域の方々の力を借りながら、地域で見守り、触れ合える居場所づくりを進めていきたい。

※学校におけるユニバーサルデザイン：あらゆる人にとって「あると便利」という考え方に基づき、子どもたちの一人一人のニーズに配慮、「わかる・できる」につながるような工夫、配慮を行っている。



坂井 知足 議員

高齢者の交通事故防止対策

**問** 最近、高齢者の交通事故が多発している。このため、道路交

通法が改正され、また運転免許証の自主返納制度も始まっているが、本市の高齢者に対する交通事故防止対策は。

**答** 高齢者の交通事故防止への取り組みとして、運転免許証の自主返納は有効であると考え、65歳以上の方が自主返納された場合には、あい愛バスの回数券の交付を検討している。

また、アクセルとブレーキの踏み違えによる交通事故が多発していることから、65歳以上の方が、衝突被害軽減ブレーキ等の安全装置のある新車を購入する際の助成制度についても検討している。

姉妹都市(友好都市)提携の推進

**問** 本市は、平成元年にオーストラリア・ダボ市と姉妹都市として提携。以来、両市は友好な関係を続けている。一方、国内では、和歌山県由良町、宮城県東松島市、富山県氷見市などとも交流を深めているが、これらの

都市との交流は今後どのように進むのか。

**答** ダボ市とは、姉妹都市の提携以来、青少年(中学生)の派遣事業等による交流が深められており、今後とも意義のある交流を続けていきたい。また、国内の都市交流については、今年度、大阪府泉佐野市と特産品に限定した相互取扱協定を締結した。今後の協定・連携については、このように目的を明確化し、メリットのある形で結んでいく。

振り込め詐欺の現状と対策

**問** オレオレ詐欺などの振り込め詐欺が増加しており、高齢者が被害に遭われている。本市の現状とその対策は。

**答** 本市を含む加茂警察署管内では、振り込め詐欺の被害が、平成27年に1件(1,300万円)、平成28年は10月までに2件(900万円)発生しており、本市では、警察と連携を深め、消費生活相談体制の充実とチラシなどによる啓発活動を行っている。また、金融機関においては、多額の引き出しに対して「全件通報制度」により被害防止対策が取られているところである。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



**金井 文敏**  
議員

災害発生時における避難所運営

**問** 内閣府が公表している「避難所の良好な生活環境の確保に向けた取り組み方針」にもあるが、近年の災害多発の状況に対して、早急に避難所運営マニュアルを作成する必要があるが、本市の対応はどのようになっているのか。

**答** 現在、避難所運営マニュアルの作成に着手している。地域防災計画との整合性を図りながら作り上げていきたいと考えている。

がん検診の状況

**問** 健康で幸せな生活を送ることは、私たちみんなの願いである。病気になるって初めて健康のありがたさを感じる。がんは、早く見つけ治療すれば、ほぼ治癒が可能となってきたが、初期症状を発見することは難しい。早期発見治療で治癒が可能ながん対策に関する施策はどのようになっているのか。

**答** 平成26年度に策定した健康増進計画の早期発見早期治療プロジェクト事業に基づき、啓発活動やがきによる再勧奨、日曜検診、

大腸がん検診の夜間及び早朝受付の実施等を行うことにより、徐々に受診率のアップにつなげている。また、検診の結果を治療に活かすため、検診で異常が見つかった方へ精密検査の受診を勧奨している。

野良猫対策のその後

**問** 室内で飼うことを推奨されている猫だが、市内でも住宅密集地でのふん尿問題は切実である。飼い猫に首輪をつけるようにすれば、野良猫との区別がつけられるようになる。首輪を推奨してはどうか。

**答** 県動物愛護推進協議会でも、飼い猫に首輪や名札を付けることを推奨している。市も広報紙等を活用し、飼い主に周知していきたいと考えている。



県動物愛護推進協議会発行のリーフレット(抜粋)



**柘植 宏一**  
議員

控訴審判決

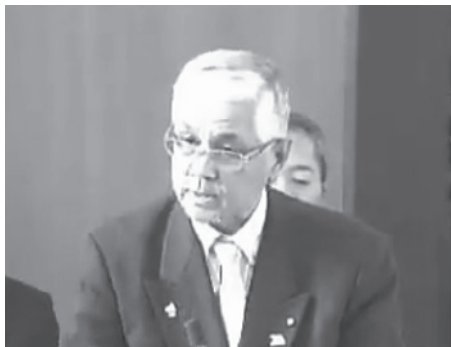
**問** 一審無罪判決において、詳細な審理のもと「虚偽の疑いが強く、信用できない」とされた詐欺師である中林(受刑者)の証言を、控訴審では「信用できるもの」として、新たな証拠がないにもかかわらず、有罪判決を言い渡した。結論ありきの不当判決である。本事件が冤罪であることは、一審無罪判決において詳細に証明されている。

取崩罪の要件には、権限と請託の存在が必要である。平成25年3月定例会の質疑において浄水プラントの導入を働きかけたとされるが、当時の藤井議員にそうした権限及び影響力があったか、また実証実験プラントの導入決定と藤井市長の関係はどのようであったか。

**答** 市としては、東日本震災を契機に、生活用水の重要性が見直され、プール水の活用が有効視される中、藤井議員から情報提供を受けた。当時の防災安全課が検討するに値するものとして、担当課の意思のもと進めるに至ったもので、決して市議会議員の権限や影

響力をもって進められたものではない。さらに、藤井市長が当選してから、導入に対する働きかけがあったわけではなく、防災対策の一環として担当課が事業の検討を進め、最終的に、部長級以上で組織する「総合政策審議会」で審議し、決定したものである。

教育委員会としては、東日本震災後、2次避難所である学校での防災対策をいろいろ検討していた。西中学校プールは、3・4年間使用しておらず、アオミドロが発生し、ペットボトルや空き缶が放り込まれている状況でもあった。浄水プラントをテストプラントとして、無料で実証実験できることは、成功すれば地域貢献になると同時に、全国でも使えることになるので、ぜひともやってほしいと考えていた。



本件について答弁する海老和允副市長

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



酒向 信幸 議員

あい愛バス

**問** 運行するにあたり年間に莫大な予算が必要と聞くが、広告・運賃収入などの考えは。

**答** 検討段階ではあるが、広告収入については、バス停の命名権やバス車内の映像放映などを検討している。その費用は、運行費用に充てるほか、一部は利用促進にも役立てていく方針である。具体的には、今後開催予定の地域公共交通活性化協議会で決定していく。運賃は高校生以上が利用した場合、1回の乗車ごとに100円を基本として考えている。

※後日、同協議会にて、この運賃の方針が決定された。

**問** 新たに運行が開始された後、検討会などで内容を定期的に見直す機会はあるのか。

**答** 平成28年度に作成した、地域公共交通網形成計画に、公共交通を「みんなで育んでいく」という基本的な考え方を持っている。そのため、各地域に「あい愛バスを育む会(仮称)」を組織し、利用促進に向けたさまざまな取り組みや路線、バス停などの意見をいただく場を設け、地域公共交通活性化協

議会において見直しなど検討しているかと考えている。

子どもの見守り

**問** 最近、通学時の児童を巻き込む事故が増加している中、通学路の実態調査やヒアリングの実施は必要ではないか。

**答** 通学路の安全点検について、平成27年3月に策定された通学路交通安全プログラムに基づき、学校長を中心にPTAと連携し、通学路の安全が確保されているか調査している。危険箇所がある場合は、その内容の報告がなされている。

まず、教育総務課で各学校からの報告の内容を取りまとめる。その後、加茂警察署・可茂土木事務所・市所管課で構成する市通学路安全推進会議で現場等確認する。その上で、改善策等を協議し、連係を図りながら適宜通学路の改良を行い、安全向上に努めている。



通学時の交通安全

議 会 日 誌 (主なもの)

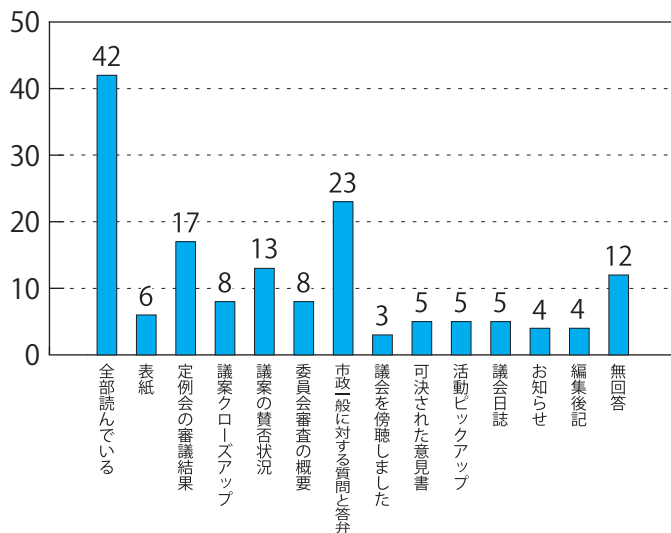
11月	12月
30日	31日
美濃加茂市・富加町中学校組合議会(富加町)	岐阜県市議会議長会議(美濃市)
29日	30日
議会だより編集委員会(12月19日閉会)	当選証書授与式
28日	27日
中濃地域農業共済事務組合 議会定例会(関市)	加茂防衛協会新年会
25日	24日
議会運営委員会	市健康連合会新年互礼会
19日	17日
PTA研究発表&子どもをたくましく育てるついで	議会だより編集委員会
18日	15日
美濃加茂商工会議所青年部25周年・OB会の設立を祝う会(坂祝町)	加茂防衛協会美濃加茂支部互礼会
17日	14日
同全体会(岐阜市)	美濃加茂青年会議所新年式典
16日	13日
同可茂地域情報交換会	美濃加茂商工会議所新春賀詞交歓会
10日	10日
可茂地域市町村議会議長会議	美濃加茂商工会議所新春賀詞交歓会
9日	8日
全国農業担い手サミット inぎふ中央交流会(岐阜市)	可茂地域町村行政懇話会
8日	7日
可茂地域市町村議会議長会議	2017年みのかも成人式
7日	6日
可茂地域市町村議会議長会議	可茂広域行政事務組合議会定例会
6日	5日
可茂地域市町村議会議長会議	消防団年末警備巡視
4日	4日
可茂地域市町村議会議長会議	可茂広域行政事務組合議会定例会
3日	3日
市制労働者表彰	可茂広域行政事務組合議会定例会
2日	2日
市議会第4回定例会	可茂広域行政事務組合議会定例会
1日	1日
高山市制施行80周年記念式典	可茂広域行政事務組合議会定例会
岐阜県都市国民健康保険 運営協議会連合会総会(関市)	可茂広域行政事務組合議会定例会
中濃十市議会議長会議員研修会(美濃市)	可茂広域行政事務組合議会定例会
11月	11月
1日	1日
高山市制施行80周年記念式典	可茂広域行政事務組合議会定例会
岐阜県都市国民健康保険 運営協議会連合会総会(関市)	可茂広域行政事務組合議会定例会
中濃十市議会議長会議員研修会(美濃市)	可茂広域行政事務組合議会定例会
市制労働者表彰	可茂広域行政事務組合議会定例会
市芸能連盟芸能祭	可茂広域行政事務組合議会定例会
地方自治連絡協議会(岐阜市)	可茂広域行政事務組合議会定例会
県身体障害者中濃地区体育大会 e・kamonまるごと環境フェア 2016	可茂広域行政事務組合議会定例会
可茂地域市町村議会議長会議	可茂広域行政事務組合議会定例会
全国農業担い手サミット inぎふ中央交流会(岐阜市)	可茂広域行政事務組合議会定例会
同全体会(岐阜市)	可茂広域行政事務組合議会定例会
同可茂地域情報交換会	可茂広域行政事務組合議会定例会
まちづくり特別委員会	可茂広域行政事務組合議会定例会
議会改革特別委員会	可茂広域行政事務組合議会定例会
議会だより編集委員会	可茂広域行政事務組合議会定例会
日本ライン議長協議会臨時会(坂祝町)	可茂広域行政事務組合議会定例会
美濃加茂商工会議所青年部25周年・OB会の設立を祝う会(坂祝町)	可茂広域行政事務組合議会定例会
PTA研究発表&子どもをたくましく育てるついで	可茂広域行政事務組合議会定例会
議会運営委員会	可茂広域行政事務組合議会定例会
中濃地域農業共済事務組合 議会定例会(関市)	可茂広域行政事務組合議会定例会
市議会第4回定例会(12月19日閉会)	可茂広域行政事務組合議会定例会
議会だより編集委員会	可茂広域行政事務組合議会定例会
美濃加茂市・富加町中学校組合議会(富加町)	可茂広域行政事務組合議会定例会

## 市議会に関するアンケート結果について

8月から9月までの2か月間、市議会だより及びインターネット上で実施しました「市議会に関するアンケート」につきまして、多くの皆様からご意見等をいただき、まことにありがとうございました。今回、寄せられたご意見から一部を公開させていただきます。

### 《市議会に関するアンケート結果の一部》

議会だよりを「読んでいる」とお答えの方は、該当するものを○で囲んでください(複数回答可)



議会だよりの内容では「定例会の審議結果」、「一般質問に対する質問と答弁」について、多く関心をお寄せいただいている反面、写真が少ない、内容が難しい等のご意見をいただきました。

こういったご意見を踏まえ、今号では、議案クローズアップや一般質問の各議員のページに写真を多く用い、内容がわかりやすいよう紙面構成を考慮しました。今後も見やすい内容・レイアウトとなるよう改善を進めていきます。

また、市議会の情報を得る手段としては、新聞が多いという結果が得られました。定例会や臨時会以外の市議会の動向についても、更なる積極的な情報発信に努めていきます。

加えて、今年度は、「市議会ホームページ」のリニューアルも実施しました。(16ページ参照)市議会インターネット中継も含め、今後もさまざまな媒体を利用し、充実を図っていきたくと考えています。

### 《寄せられたご意見まとめ》

- 「定例会の審議結果」、「一般質問に対する質問と答弁」は読んでいる。
- 記事の写真が少ない。
- 内容が難しく、よくわからない。
- 議会だより以外の市議会の情報は、新聞から得ることが多い。

◆ アンケートの全結果については、市議会ホームページにてご覧いただけます。また、自由意見に記載いただきました内容については全議員、執行部に情報提供し、今後の議会活動、市政運営の参考とすることとしました。なお、今後のご意見等につきましては、市議会ホームページのご意見・アンケートにて受け付けております。

活動  
ピックアップ

まちづくり特別委員会の提案をもとに  
「みのかも元気体操」ができました。

まちづくり特別委員会は「医療・健康のまちづくり」をテーマとして、市内長寿支援センターの視察や先進地視察を行ってきました。これらの調査・研究を踏まえ、健康づくりの一環として、市民がだれでも気軽に行える取り組みの実施を執行部（健康福祉部）へ提案したところ、市若手職員がCS実践活動で考案された体操をベースに「美濃加茂市の歌」にあわせて行う「みのかも元気体操」が作成されました。

体操は、市内の各保育園の運動会や健康・福祉すこやかフェスティバルでも実施されるなど、普及に向けて各所で行われています。

市議会としても、体操の普及を進めるとともに、皆様の健康づくりに寄与できるよう、引き続き調査・研究を行っていきます。



左上から まちづくり特別委員会  
健寿連合会福祉大会 保育園  
健康・福祉すこやかフェスティバル  
◆体操の動画は、市ホームページにてご覧いただけます。

特別委員会

正副委員長改選のお知らせ

10月20日、各特別委員会において下記のとおり新たに就任しました。

新庁舎建設特別委員会

委員長：渡辺 益巳  
副委員長：酒向 信幸

議会改革特別委員会

副委員長：日置 祥子

議会を  
傍聴  
しました

今回の定例会を傍聴された方々からいただいたご意見を掲載します。（初日、一般質問の日）

- ・新しい議長さんが登壇され、少し華やかな空気がうかがえた。
- ・総合医療センターの件は、譲渡の話が進んでいるとのことでした。
- ・公共交通について、まだまだ難しい点が多く感じられるけれど、私もバス利用者なので、将来便利になることを期待したい。
- ・障がい者グループホーム建設の質問が出され、市民としてもっと関心を持つべきだと痛感しました。障がい者の方々の生活の苦しさ、生きる困難さを知ることができました。

# 市議会ホームページをリニューアルしました!

このたび、美濃加茂市議会ホームページをリニューアルしました。市民の皆様が、より分かりやすく、より使いやすいホームページとなるよう、ページ構成やデザインを一新しました。皆様のアクセスをお待ちしています。



■美濃加茂市議会ホームページ <http://gikai.city.minokamo.gifu.jp>

※旧サイトとアドレスは変わっていません。 ※美濃加茂市ホームページからもアクセスできます。

## 本会議の様子は、議会中継で!!

市議会本会議の様子をインターネットに配信しています。本会議の開催日にはライブ中継も行っています。パソコン、スマートフォンやタブレット端末で、ぜひご視聴ください。

■美濃加茂市議会 議会中継 アドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/minokamo/>

美濃加茂市議会 議会中継

検索

次の定例会の予定  
平成29年市議会第1回定例会

2月28日(火) 初 日  
3月 8日(水) 一般質問  
9日(木) 一般質問  
10日(金) 一般質問(予備日)  
13日(月) 質 疑  
24日(金) 最 終 日

※日程は都合により変更となる場合があります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

## 編集後記

新年を迎え、希望に満ちた一年となることを願っています。

美濃加茂市議会初の試みである「市議会に関するアンケート」におきましては、多くの市民の皆様よりお寄せをいただきありがとうございました。皆様のご意見を真摯に受け止め、議会がより向上出来るよう、議員一丸となって努力精進してまいります。

これまでの議会だよりの紙面カラー化、一般質問の議員別掲載、本会議のインターネット中継などに続き、市民の皆様により分かりやすく、より開かれた議会となるような取り組みを進めてまいります。

議会だより編集委員会においても、議会だよりを通じて、わかりやすい情報の展開を目指してまいります。

牧田 秀憲

## 今号から新しい委員が編集を行いました



### 議会だより編集委員会

中央左右 委員長：牧田 秀憲  
副委員長：酒向 信幸  
左から 日置 祥子 高井 厚  
片桐 美良 渡辺 孝男

ご意見ご感想は、市議会ホームページ(ご意見・アンケート)、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。次回の議会だよりは、平成29年5月1日を予定しています。